

東京TYFG・外貨建て ニッポン社債ファンド201510 (愛称：東京TY201510)

運用報告書(全体版) 第8期

(決算日 2019年11月15日)
(作成対象期間 2019年5月16日~2019年11月15日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日系企業が発行する外貨建ての社債等に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先 (コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00~17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/債券	
信託期間	4年10カ月間(2015年11月16日~2020年9月15日)	
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	外貨建てニッポン社債マザーファンド<<2020-09>>の受益証券
	外貨建てニッポン社債マザーファンド<<2020-09>>	米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、経費控除後の配当等収益等の中から分配することをめざします。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額				公 社 債 組 入 比 率	債 券 先 物 率 比	純 資 産 総 額
	(分 配 落)	税 込 分	み 金	期 騰 落 中 率			
4 期末 (2017年11月15日)	円 10,101	円 30	% 0.1	% 98.4	% —	百万円 4,488	
5 期末 (2018年 5月15日)	9,910	20	△ 1.7	98.6	—	3,621	
6 期末 (2018年11月15日)	9,829	10	△ 0.7	95.5	—	2,797	
7 期末 (2019年 5月15日)	9,891	10	0.7	93.7	—	2,247	
8 期末 (2019年11月15日)	9,952	10	0.7	94.9	—	1,943	

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注 2) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注 3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。

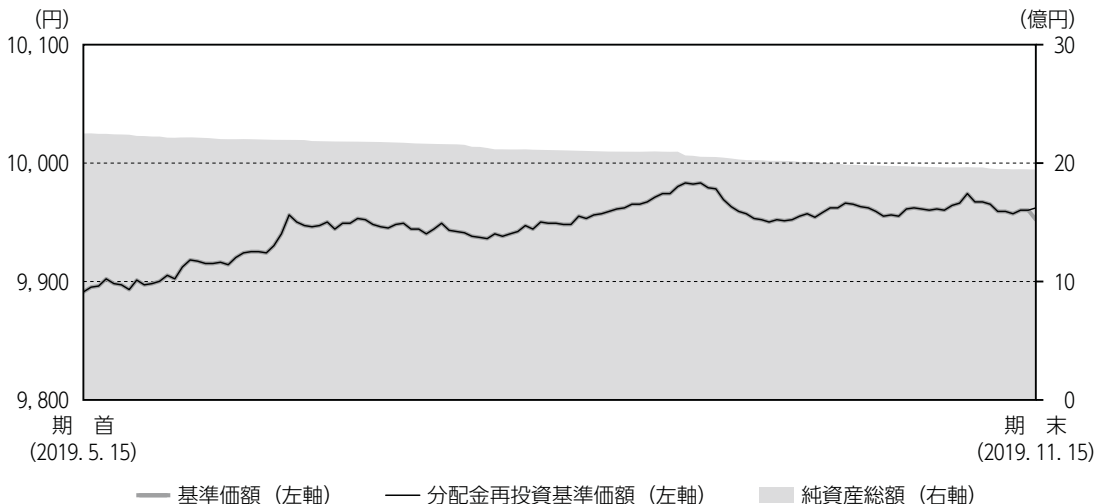
(注 4) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

(注 5) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：9,891円

期末：9,952円（分配金10円）

騰落率：0.7%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

「外貨建てニッポン社債マザーファンド<<2020-09>>」の受益証券を通じて、主として日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行った結果、保有債券からの利息収入や社債金利の低下（債券価格の上昇）がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

東京TYFG・外貨建てニッポン社債ファンド201510

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率 組 入 比	債 券 先 物 率 比
	円	騰 落 率 %		
(期 首) 2019年 5月15日	9,891	—	93.7	—
5月末	9,902	0.1	94.9	—
6月末	9,950	0.6	95.8	—
7月末	9,940	0.5	96.6	—
8月末	9,971	0.8	94.1	—
9月末	9,955	0.6	99.7	—
10月末	9,966	0.8	97.8	—
(期 末) 2019年11月15日	9,962	0.7	94.9	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019. 5. 16 ~ 2019. 11. 15)

米国債券市況

米国債券市場では、国債や社債の金利が低下しました。

当作成期首より2019年8月にかけて、トランプ米国大統領が中国製品に対する関税率を引き上げる方針を示したことなどから、米中通商協議への懸念が強まり、金利が低下しました。その後は、米中通商協議への懸念が和らいだことや英国のEU（欧州連合）離脱期限が延長されたことから、投資家のリスクセンチメントが改善し、金利は低下幅を縮めました。また、7月、9月、10月のFOMC（米国連邦公開市場委員会）において、0.25%ポイントずつ利下げが実施されたことも、金利低下要因となりました。

米ドル建ての社債については、FRB（米国連邦準備制度理事会）の緩和的なスタンスなどを背景に、スプレッド（国債に対する上乗せ金利）は縮小圧力が強まり、多くの銘柄の金利は低下しました。

前作成期末における「今後の運用方針」**当ファンド**

「外貨建てニッポン社債マザーファンド<<2020-09>>」の受益証券を高位に組み入れるとともに、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

外貨建てニッポン社債マザーファンド<<2020-09>>

主として日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、金融セクターを軸としたポートフォリオを維持することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

ポートフォリオについて

(2019. 5. 16 ~ 2019. 11. 15)

当ファンド

「外貨建てニッポン社債マザーファンド<<2020-09>>」の受益証券を高位に組み入れるとともに、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

外貨建てニッポン社債マザーファンド<<2020-09>>

主として日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、流動性や利回り面で投資妙味のある金融セクターを軸とするポートフォリオを維持しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金(税込み)は下記「分配原資の内訳(1万口当り)」の「当期分配金(税込み)」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程(1万口当り)」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳(1万口当り)

項 目	当期	
	2019年5月16日 ~2019年11月15日	
当期分配金(税込み)	(円)	10
対基準価額比率	(%)	0.10
当期の収益	(円)	10
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	1,124

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

収益分配金の計算過程(1万口当り)

項 目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 136.62円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	1.73
(d) 分配準備積立金	995.64
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	1,134.00
(f) 分配金	10.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	1,124.00

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「外貨建てニッポン社債マザーファンド<<2020-09>>」の受益証券を高位に組み入れるとともに、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■外貨建てニッポン社債マザーファンド<<2020-09>>

主として日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、金融セクターを軸としたポートフォリオを維持することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2019. 5. 16～2019. 11. 15)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	56円	0. 559%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9, 947円です。
(投 信 会 社)	(27)	(0. 273)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(27)	(0. 273)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0. 014)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0. 012	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0. 007)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	57	0. 571	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

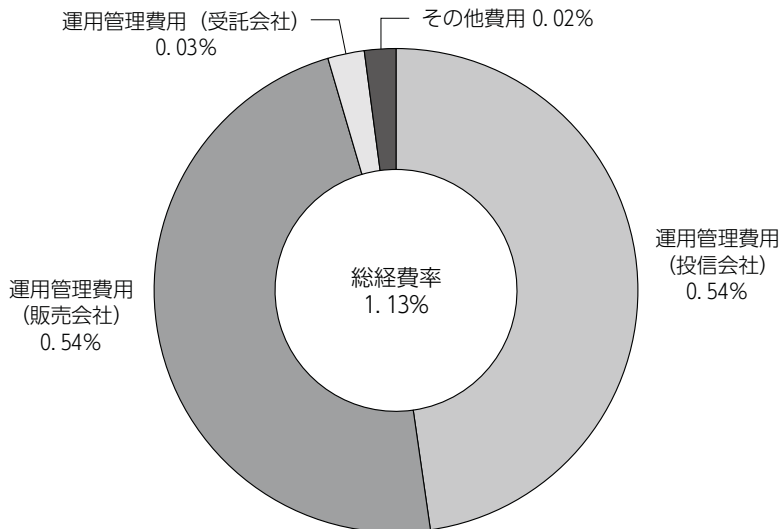
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.13%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2019年5月16日から2019年11月15日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外貨建てニッポン社債マザーファンド<<2020-09>>	23,980	24,000	335,209	338,400

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	口 数	評 価 額	口 数	評 価 額
	千口	千円	千口	千円
外貨建てニッポン社債マザーファンド<<2020-09>>	2,191,049	1,879,820	1,922,492	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年11月15日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
外貨建てニッポン社債マザーファンド<<2020-09>>	1,922,492	96.4
コール・ローン等、その他	72,372	3.6
投資信託財産総額	1,994,865	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月15日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=108.62円です。

(注3) 外貨建てニッポン社債マザーファンド<<2020-09>>において、当期末における外貨建純資産(3,459,554千円)の投資信託財産総額(3,588,881千円)に対する比率は、96.4%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年11月15日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	3,803,136,909円
コール・ローン等	72,372,809
外貨建てニッポン社債マザーファンド<<2020-09>>(評価額)	1,922,492,915
未収入金	1,808,271,185
(B) 負債	1,859,761,450
未払金	1,845,010,048
未払収益分配金	1,952,727
未払解約金	985,358
未払信託報酬	11,726,094
その他未払費用	87,223
(C) 純資産総額(A-B)	1,943,375,459
元本	1,952,727,131
次期繰越損益金	△ 9,351,672
(D) 受益権総口数	1,952,727,131口
1万口当り基準価額(C/D)	9,952円

* 期首における元本額は2,272,478,504円、当作成期間中における追加設定元本額は14,079円、同解約元本額は319,765,452円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,952円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は9,351,672円です。

■損益の状況

当期 自2019年5月16日 至2019年11月15日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 12,326円
受取利息	798
支払利息	△ 13,124
(B) 有価証券売買損益	25,713,720
売買益	135,197,574
売買損	△ 109,483,854
(C) 信託報酬等	△ 11,819,620
(D) 当期損益金(A+B+C)	13,881,774
(E) 前期繰越損益金	△ 20,992,547
(F) 追加信託差損益金(配当等相当額)	△ 288,172
(G) 合計(D+E+F)	△ 7,398,945
(H) 収益分配金	△ 1,952,727
次期繰越損益金(G+H)	△ 9,351,672
追加信託差損益金(配当等相当額)	△ 288,172
(売買損益相当額)	(△ 338,722)
(売買損益相当額)	(△ 626,894)
分配準備積立金	219,148,039
繰越損益金	△ 228,211,539

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	26,678,915円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	338,722
(d) 分配準備積立金	194,421,851
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	221,439,488
(f) 分配金	1,952,727
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	219,486,761
(h) 受益権総口数	1,952,727,131口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ

1 万 口 当 り 分 配 金

10円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

外貨建てニッポン社債マザーファンド<<2020-09>>

運用報告書 第8期 (決算日 2019年11月15日)

(作成対象期間 2019年5月16日～2019年11月15日)

外貨建てニッポン社債マザーファンド<<2020-09>>の運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

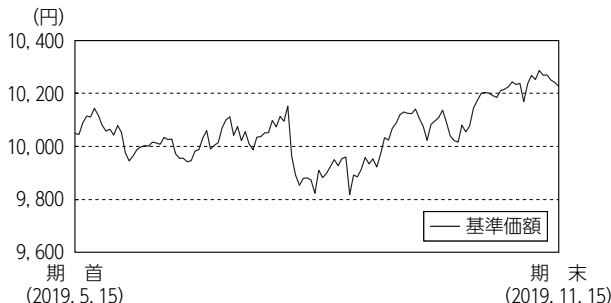
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行いません。
主要投資対象	米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		公社債 組入比率	債券先物 比率
	円	%		
(期首) 2019年5月15日	10,049	—	95.6	—
5月末	10,053	0.0	96.9	—
6月末	9,988	△ 0.6	97.0	—
7月末	10,095	0.5	97.0	—
8月末	9,958	△ 0.9	96.3	—
9月末	10,109	0.6	99.0	—
10月末	10,238	1.9	97.7	—
(期末) 2019年11月15日	10,227	1.8	95.9	—

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)を除きます。
 (注3) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。
 (注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,049円 期末：10,227円 騰落率：1.8%

【基準価額の主な変動要因】

主として日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資した結果、円高米ドル安はマイナス要因となったものの、社債金利の低下(債券価格の上昇)や保有債券からの利息収入などを反映し、基準価額は上昇しました。

◆投資環境について

○米国債券市場

米国債券市場では、国債や社債の金利が低下しました。

当作成期首より2019年8月にかけて、トランプ米大統領が中国製品に対する関税率を引き上げる方針を示したことなどから、米中通商協議への懸念が強まり、金利が低下しました。その後は、米中通商協議への懸念が和らいだことや英国のEU(欧州連合)離脱期限が延長されたことから、投資家のリスクセンチメントが改善し、金利は低下幅を縮めました。また、7月、9月、10月のFOMC(米国連邦公開市場委員会)において、0.25%ポイントずつ利下げが実施されたことも、金利低下要因となりました。

米ドル建ての社債については、FRB(米国連邦準備制度理事

会)の緩和的なスタンスなどを背景に、スプレッド(国債に対する上乗せ金利)は縮小圧力が強まり、多くの銘柄の金利は低下しました。

○為替相場

米ドルは対円で下落しました。

当作成期首から2019年8月下旬にかけて、米中通商協議への懸念が強まった結果、米ドル円は下落しました。その後は、米中通商協議への懸念が和らいだことや英国のEU(欧州連合)離脱期限が延長されたことから、投資家のリスクセンチメントが改善し、米ドル円は下落幅を縮めました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

主として日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、金融セクターを軸としたポートフォリオを維持することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

◆ポートフォリオについて

主として日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、流動性や利回り面で投資妙味のある金融セクターを軸とするポートフォリオを維持しました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

主として日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、金融セクターを軸としたポートフォリオを維持することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	1
(保管費用)	(1)
(その他)	(0)
合計	1

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

外貨建てニッポン社債マザーファンド<<2020-09>>

■売買および取引の状況

公 社 債

(2019年5月16日から2019年11月15日まで)

外国	アメリカ	社債券	買付額	売付額
			千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル
			2,806	6,221
				(1,500)

- (注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
 (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 社債券には新株予約権付社債券(転換社債券)は含まれておりません。
 (注4) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2019年5月16日から2019年11月15日まで)

当 期		期 末	
買 付	金 額	売 付	金 額
銘 柄	千円	銘 柄	千円
Sumitomo Mitsui Financial Group Inc (日本) 2.74325% 2022/10/18	302,925	Chiba Bank Ltd/The (日本) 2.55% 2019/10/30	161,913
		Mitsubishi UFJ Lease&Finance Co Ltd (日本) 2.5% 2020/3/9	86,037
		Fukoku Mutual Life Insurance Co (日本) 6.5% 永久債	72,271
		Dai-ichi Life Insurance Co Ltd/The (日本) 7.25% 永久債	70,077
		Sompo Japan Insurance Inc (日本) 5.325% 2073/3/28	70,059
		Suntory Holdings Ltd (日本) 2.55% 2019/9/29	54,309
		Mitsui Sumitomo Insurance Co Ltd (日本) 7% 2072/3/15	47,161
		Nippon Life Insurance Co (日本) 5% 2042/10/18	46,011
		Mizuho Financial Group Inc (日本) 3.01838% 2022/9/11	43,772
		ORIX Corp (日本) 2.95% 2020/7/23	21,686

- (注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
 (注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)外国(外貨建)公社債(通貨別)

作 成 期	区 分	当 期			期 末				
		額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
			外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	アメリカ	千アメリカ・ドル 30,700	千アメリカ・ドル 31,629	千円 3,435,607	% 95.9	% —	% 29.1	% 25.0	% 41.8

- (注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客官物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
 (注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
 (注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
 (注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)外国(外貨建) 公社債(銘柄別)

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
					当 期 末		
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
			%	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千円	
アメリカ	Mizuho Bank Ltd	社債券	2.7000	800	805	87,528	2020/10/20
	Sumitomo Mitsui Banking Corp	社債券	2.4500	1,000	1,000	108,717	2020/01/16
	Mitsubishi UFJ Trust & Banking Corp	社債券	2.6500	2,300	2,315	251,492	2020/10/19
	Nissan Motor Acceptance Corp	社債券	2.1250	2,500	2,499	271,509	2020/03/03
	Mizuho Financial Group Inc	社債券	3.0183	2,600	2,620	284,637	2022/09/11
	Mitsubishi UFJ Financial Group Inc	社債券	2.7956	2,800	2,816	305,969	2023/07/26
	Sumitomo Mitsui Financial Group Inc	社債券	2.7432	2,800	2,813	305,559	2022/10/18
	Mitsui Sumitomo Insurance Co Ltd	社債券	7.0000	2,000	2,185	237,393	2072/03/15
	Sumitomo Life Insurance Co	社債券	6.5000	800	901	97,890	2073/09/20
	Dai-ichi Life Insurance Co Ltd/The	社債券	7.2500	2,400	2,583	280,656	永久債
	Nippon Life Insurance Co	社債券	5.0000	800	846	91,899	2042/10/18
	Fukoku Mutual Life Insurance Co	社債券	6.5000	2,000	2,237	243,002	永久債
	ORIX Corp	社債券	2.9500	2,800	2,814	305,741	2020/07/23
	Sompo Japan Insurance Inc	社債券	5.3250	800	857	93,110	2073/03/28
	Nomura Holdings Inc	社債券	6.7000	1,800	1,824	198,198	2020/03/04
	Mitsubishi UFJ Lease&Finance Co Ltd	社債券	2.5000	1,000	1,000	108,688	2020/03/09
	Mitsubishi UFJ Lease&Finance Co Ltd	社債券	2.7500	1,500	1,506	163,611	2020/10/21
合 計	銘柄数	17銘柄					
	金 額			30,700	31,629	3,435,607	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年11月15日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	3,435,607 千円	95.7 %
コール・ローン等、その他	153,273	4.3
投資信託財産総額	3,588,881	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月15日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=108.62円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(3,459,554千円)の投資信託財産総額(3,588,881千円)に対する比率は、96.4%です。

外貨建てニッポン社債マザーファンド<<2020-09>>

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年11月15日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	3,588,881,282円
コール・ローン等	129,373,983
公社債（評価額）	3,435,607,369
未収利息	23,899,930
(B) 負債	7,001,119
未払解約金	7,000,000
その他未払費用	1,119
(C) 純資産総額（A－B）	3,581,880,163
元本	3,502,221,197
次期繰越損益金	79,658,966
(D) 受益権総口数	3,502,221,197口
1万口当り基準価額（C／D）	10,227円

* 期首における元本額は4,139,262,788円、当作成期間中における追加設定元本額は41,966,428円、同解約元本額は679,008,019円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、東京TYFG・外貨建てニッポン社債ファンド201510 1,879,820,979円、東京TYFG・外貨建てニッポン社債ファンド201604 1,622,400,218円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,227円です。

■損益の状況

当期 自2019年5月16日 至2019年11月15日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	77,706,849円
受取利息	77,728,445
支払利息	△ 21,596
(B) 有価証券売買損益	11,301,486
売買益	32,456,199
売買損	△ 43,757,685
(C) その他費用	300,546
△	
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	66,104,817
(E) 前期繰越損益金	20,312,558
(F) 解約差損益金	6,791,981
△	
(G) 追加信託差損益金	33,572
(H) 合計（D＋E＋F＋G）	79,658,966
次期繰越損益金（H）	79,658,966

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。